



Tsさんとご夫妻と、お嬢さんのTaさんご家族は、スーパの冷めない距離にお住まいで、お孫さん二人はいつも「おじいちゃん、おばあちゃん」の家に遊びに行っていました。さて、Taさんご家族が賃貸マンションを出て自宅を持つとうかか考えたマンションを大規模にリフォームしようかと考えていました。母と娘で「それなら、二世帯住宅にしよう！」と話が決まりました。幸いにも、すぐ近くでよい土地がタイミングよく見つかり、当社で住宅設計依頼を受けました。

当社の住宅見学会にご参加いただき、中庭のあるプランを気に入られ、設計の骨格が決まりました。Tsさんご夫妻が暮らし一階は、きれいに収納できるキッチンと、玄関と勝手口をつなぐ通路に収納を作り、ご主人の日曜大工作業場



細やかな設計の工夫が家のあちこちに施されています。

が設けられているのが特徴。一方、Taさんご夫妻と二人のお子さん、そして猫ちゃんが暮らす二階は、夜動で遅くなることもあるご主人のためにリビングから離れた休憩室を設け、パソコン用ワークスペースを配置。使い勝手の良いウォーキングクローゼットのリック工ストもありました。

■ Taさん奥様談

「冬は床暖房。夏はとても暑い日以外は、エアコンをほとんど使いませんでした。窓を開けると風がよく通るので、設計の堺原さんから提案のあったこのシーリングファンがよく働いてくれます。夏は涼しい風が上から優しく降りてきます。冬は逆に暖かい空気を一度巻き上げ、周りから足元に届けてくれます。階段から冷気が下に落ちるのがもったいないので、ロールスクリーンを取り付けました。この家に住むようになってから、下の子のおなかの調子が良くなったのにはびっくりしました。自然素材の力もあるかも知れませんが、しよっちゅう下の父母の住まいと階段上り下りで行き来したり、父母の住まいの中を駆け回ったりして運動量が増えたのがよかったです。私も、パジャマ姿で調味料を下に借りに行けるのが便利です。」

設計で実現した暮らしやすさ



001 階段室の空間に向かうワークスペース



002 1階の玄関と勝手口をつなぐ収納スペース兼Tsさんご主人の日曜大工作業場



003 1階の廊下を挟んだ二部屋は、出入口が二方向にあり、引き戸を開けておくと自在に回遊できます。お孫さんたちが走り回ります。



004 2階の良い眺望の良い広々としたバルコニー



005 使い勝手の良い、2階のコ字型キッチン



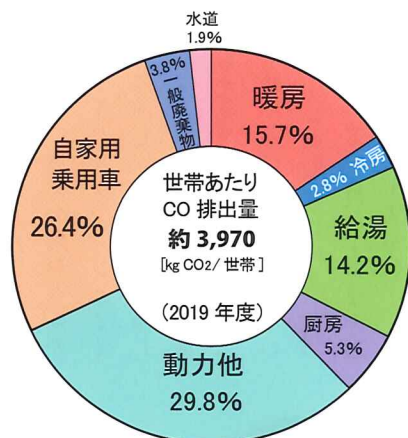
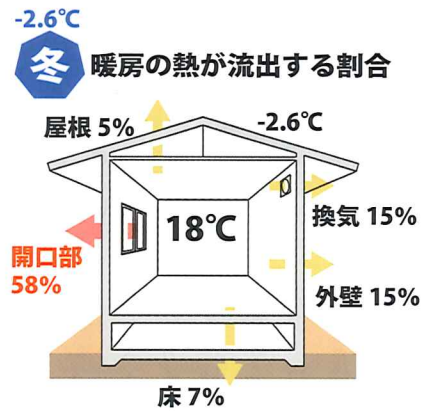


今住んでいる住宅の断熱性を高め、CO2排出を削減しよう！

家庭からのCO₂排出量は、自家用車、ごみ処分、水道も含めると、一世帯（平均2.14人）当たり年間3.97トン（2019年度）。このうち、暖房エネルギー使用に伴うCO₂は、15.7%で624kg。今の住まいの断熱性を高めることで、このCO₂を減らすことができます。



窓断熱



住宅から暖房エネルギーが逃げるルートを調べると、開口部が58%を占めます。

理由は、断熱材が入っている壁などに比べ、ガラス窓は、7〜12倍ほど熱が逃げやすいからです。この窓の断熱性を高める方法として、インナーサッシ（内窓）の取り付けがまずはお勧めです。左の写真は、マンションにお住いの組合員宅にペアガラスのインナーサッシを取り付けてから、窓の温度を測ったものです。



窓の温度が8°C以上も上がり、「冷気が入ってこなくなり暖かくなった」と喜んでいただきました。インナーサッシを付けると、写真で分かるように窓の開け閉めを2回行わなければなりません。設置した組合員の皆さんが、この開け閉めが全く苦ではないとのこと。「結露が無くなった」「音も静かになってよかった」と好評です。

価格は、特に窓枠の追加などなければ、窓の大きさや枚数にもよりますが、取り付け費も含め、インナーサッシの定価80〜90%くらいの費用で設置できます。ちなみに幅2m以内、高さ1.9m以内の掃き出し窓用のペアラインナーサッシは、定価が約12.4万円（税込）です。



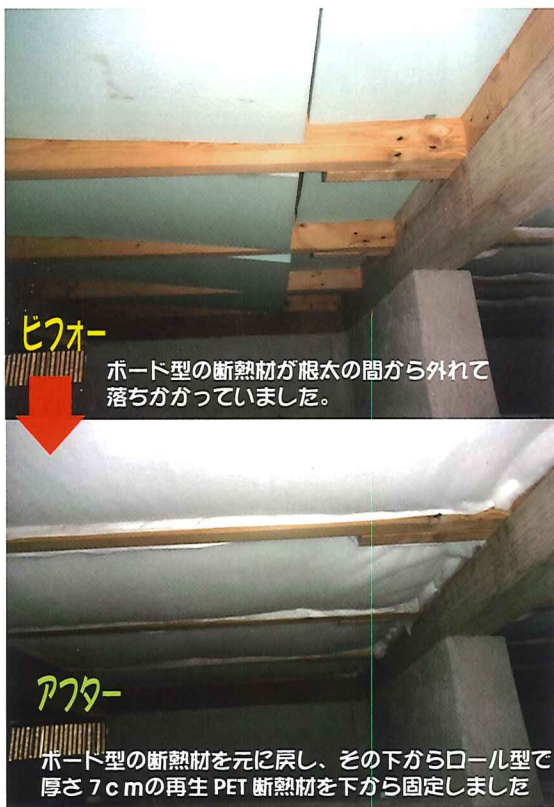
床下断熱

冬に床下から熱が逃げる割合は7%と大きくはありませんが、足元の冷気は数字以上に寒く感じられます。皆さんの家の床下の断熱材は、厚さがどのくらいでしょうか。また、左写真のように断熱材が脱落していることはないでしょうか？

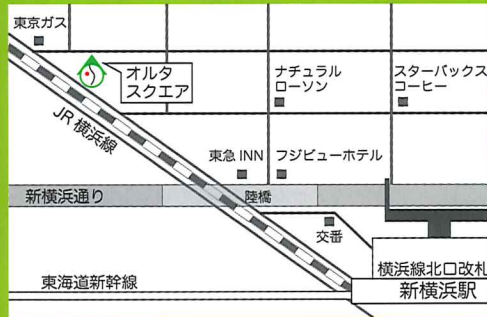
1999年以降は、目指すべき床下の断熱基準は熱抵抗値2.2 (m²・K/W) となっており、高性能グラスウールボードや発泡スチロールボードなど厚さ約8cmのものが入っている必要があります。しかし、それ以前は、せいぜい2cmのものが入っていればOKでした。

現在、断熱材が薄かったり、断熱材が脱落していたりする状況に対し、床下から潜って、断熱材を補強することができます。

例えば、ロール型で厚さ7cmの再生PET断熱材（熱抵抗値1.6）を、既存の断熱材の下から足すことで、断熱性を高めることができます。費用は一坪当たり税込み1.65万円です。



生活クラブの家づくり
オルタスクエア 株式会社
<http://www.a-sq.co.jp/>
生活クラブの住宅会社 信頼できる住まいの相談相手
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-4オルタナティブ生活館1F
電話: 045(476)1105 (日曜・祭日休)
FAX: 045(476)1106
mail: info@a-sq.co.jp
(ご相談はメールでも受付けています!)



* JR 横浜線の線路沿いです

私たちオルタスクエア株式会社は 1998 年に設立された生活クラブ神奈川の住宅部門を担う会社です。生活クラブ生協、福祉クラブ生協、意思ある住まいの専門家たちの出資を得て、住まいの「安全・健康・環境・文化」を実現していくために事業を行っています。

屋根診断 税込み9,720円

「屋根に穴が開いてますよ。無料で直してあげます」という悪質業者の訪問に注意！
オルタスクエアの有料屋根診断は、専門家が屋根を点検し写真と報告書をお出しします。対策工事が必要な場合はお見積もりもご提案します。



床下診断 税込み8,640円

床下の状態が気になったお家のために、専門家が床下にもぐって調査結果を写真とともに報告するメニュー。ご利用は1回のみです。万が一シロアリがいた場合は、人にもペットにも無害なシロアリ駆除工事（月桃）使用のお見積もりをお出しします。



オルタスクエアのおすすめメニュー

★ 2世帯同居のためのリフォーム 戸塚区 H邸

■ 東戸塚の駅に近いマンションに家族4人でお住まいだった組合員のHさんから、ご相談をいただきました。同じ戸塚区内に両親が住んでいる実家があり、今後のことを考えて一緒に住みたいと思うが、耐震が心配、とのことでした。1985年（昭和60年）築で、新耐震基準（1981年から適用）以降の建物なので、大丈夫と思われましたが、念のため当社で耐震診断を実施。屋根を瓦からスレートに替え、二続きの部屋を仕切るための壁を増設することで、より安心できる強度となる見通しが立ち、晴れて、2世帯同居のためのリフォームのお打ち合わせとなりました。

♡ ご相談の結果、重点ポイントは以下になりました。

1階

● 1階に8帖と6帖の和室がつながって配置されていましたが、奥の6帖をご両親の居室とするため、8帖間との間に壁を新設して独立した部屋に。また、既存の押し入れと床の間をクローゼットにして収納力を高める。床はヒノキフローリング、壁は珪藻土。

● 8帖の和室も床をヒノキ、壁を珪藻土とし、独立したリビング兼客間とする。

● キッチンとダイニングが引戸で仕切られていたが、引き戸と下がり壁を撤去し、一体の空間にする。床は共通してヒノキフローリング。壁はダイニングが珪藻土、キッチンは汚れを落としやすいクロス。

2階

● 2階の二つの和室の間に壁を新設し、それぞれ独立した部屋とする。

● 各部屋の既存の押入・天袋を改装し、ハンガーパイプ付きのクローゼットにして収納力を高める。

● 2つの和室と洋室、廊下、納戸の床を全てヒノキのフローリングとし、壁を全て珪藻土に。

■ このほかに、屋根葺き替え（瓦からスレートコロニアル葺き）、外壁塗装、玄関扉の交換（カバ工法）、キッチン・浴室・洗面台・トイレなど水回り設備の交換、を行いました。

間取りの変更は行わなくても、キッチンダイニングは大勢で利用できる広い空間となり、お風呂や洗面台が心地よいものになりました。そして、なんとといっても、ヒノキの無垢床材と珪藻土がつくる、空気がきれいで調湿性の高い住空間が実現しました。



以前の浴室

断熱性の高バスになり、ヒートショックのリスクが低減



以前のキッチン



ひのき床の心地よいキッチンとなりました



お洒落なレトロモダンのタイル張りの洗面シンクに



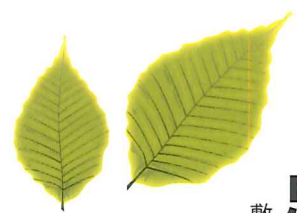
以前の洗面



ガラス戸と下がり壁を撤去しDKを一体化

外壁塗装 屋根塗装 屋根葺き替え 耐震診断 床下診断 シロアリ防除 床下湿気対策 畳換え 襖張り替え 網戸張り替え クロス張
2021 秋

お酒落できれい好きな
 若いご家族に喜んでもらった木の住まい

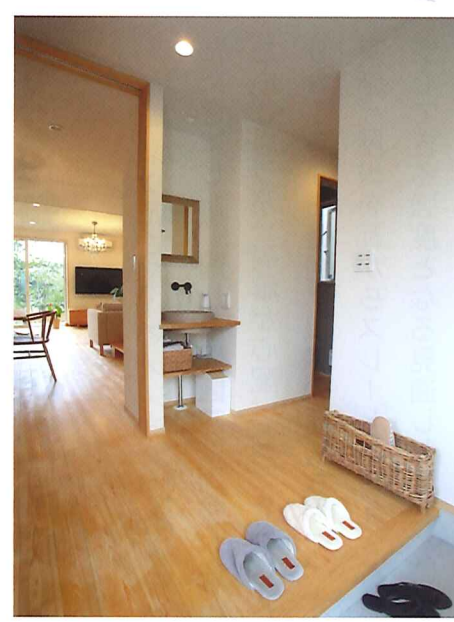


思い出深い庭の木を活かした設計 「鎌倉市K邸」
 敷地面積166.59㎡(50.3坪) 延床面積100.98㎡(30.5坪) ロフト22.77㎡(6.8坪)



Kさんご家族はご夫妻とお嬢さんの3人。奥様のご実家の隣に住まう計画を立てられ、ご友人を介して当社に相談がありました。当初は敷地に建つ住宅を大型リフォームすることも選択されましたが、ご検討の結果、建て替えとなりました。今年1月に竣工、3月にお引越しをされたK邸を訪問しました。

■奥様 「花粉症なので、玄関に入ってすぐにコートがかけられる回廊式の大収納があって、とても助かっています。また、玄関の洗面化粧台は、設計打ち合わせの時に、トイレから独立させてここに設置しようと決めたのですが、コロナ禍の中でこんなに重宝することになるとは思いませんでした。漆喰のDIYは今まで経験がありませんでしたが、面白そうと思い、寝室などブ



ライベートな場所です。主人とともにチャレンジしました。ロフトの大収納には、引っ越してきた時の荷物がそのままたくさん入っています。この収納スペースがなかったら、荷物の置き場に困ったと思います」

■ご主人 「庭の桜の花を楽しめるように、窓の配置を工夫してもらいました。2階の浴室は富士山を眺められるようにしてもらっています。このオープンなキッチン空間がとても気に入っています。この木のカウンタートも、山岸さんと打ち合わせて、木目がはっきりして美しいタモの木を選びました。」

■設計担当山岸から 「お隣の親世帯を含む広い敷地にも思い出のあるたくさんのお木があり、できる限り残したいのがご要望がありました。枝を一部切りながらも、リビングや浴室から桜などの花や葉を眺めることができる家づくりができました。キッチンもオープンにし、風景を楽しみながら家事ができるようにしました。一方、食器、洋服などを多くお持ちなのでパントリー、シューズクローゼット、ウォークインクローゼット、ロフト収納などの収納場所はしっかり確保しました。漆喰塗りも一緒にさせていただいたり、お客様の楽しい提案があったり、思い出深い設計となりました。」

家族の喜しを奏でる住まい



001 タモの木目が美しいオープンキッチンのワークスペースに続いていきます。



002 キッチンと玄関につながるワークスペース。奥様のアイデアで食器棚は、奥行きが違う棚板を組み合わせて使い勝手の良い収納になっています。



003 着色漆喰と白漆喰でコントラストをつけている寝室。使い勝手の良いオープンクローゼットが隣接しています。漆喰塗りは、ご夫妻のDIY



004 2階から白い漆喰空間をさらに上っていくと、22.77㎡の大型収納ロフト。



005 ミニチュアダックスフンドのダイちゃん、御年18歳。ウッドデッキに転落防止用の柵を設置。

